

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(742)6462
担当部課名	環境事業部	東清掃事業	所	管理
事務事業名	東清掃事業所職場研修費		事業コード	21220

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	人と自然にやさしい地域社会をつくれます	事業開始年度
基本施策名	第2節	リサイクル型社会の構築	~63
施策名	第2施策	廃棄物の適正処理の推進	

2 実施根拠及び関連法令等

廃棄物の処理及び清掃に関する法律
労働安全衛生法

3 事業概要

(1) 事業の目的	(2) 対象(誰、何)
し尿処理業務に必要な資格等の取得及び能力の維持向上並びに職員の健康管理の促進を図る。	所属職員
	対象数
	25名
(3) 平成13年度事業の内容	(4) 総合計画・実施計画における概要
各種講習会の開催及び資格取得等 (決算額) 181千円 ・健康管理講習 1回 ・酸素欠乏症等防止講習 1回 ・ボイラー取扱主任者能力向上教育 3名 ・危険物保安講習 1名 ・玉掛技能講習 2名 ・クレーン運転業務特別教育 2名 ・刈払機取扱作業安全衛生教育 2名 ・危険物取扱者(資格取得) 1名	なし
	(5) 個別計画の概要
	計画名
	計画年次
	年度~ 年度

4 評価指標

指標名	第2種酸素欠乏危険作業主任者資格の全作業従事者取得	酸素欠乏症等防止講習の全作業従事者受講
指標式	有資格者数 / 作業従事者数 × 100 (17人 / 17人 × 100)	受講者数 / 作業従事者数 × 100 (14人 / 17人 × 100)
指標設定の意図	有資格者数を保有率で表す	受講者数を受講率で表す

5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標	100.0	100.0	a	100.0	b
指標	85.7	88.9	c	82.4	d
指標			e		f
事業費	決算(予算)額	121	259	181	232
	人員・時間数				
	人件費				
	その他経費				
	合計	121	259	181	232
特定財源					

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか		
評価 B ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 91.2%
	B : 一部達成していない(100%> 80%)	
	C : 達成していない (80%>)	
$\frac{a}{b} = \frac{100.0}{100.0} \times 100 = 100.0\%$	$\frac{c}{d} = \frac{82.4}{100.0} \times 100 = 82.4\%$	$\frac{e}{f} \times 100 =$
理由 :	講習会の開催が1回であるため、当日に勤務明けに当たる者の受講が困難であり、全員受講が達成できなかった。	
(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か		
評価 A ▼	A : 適応している	理由 : 業務に従事する機会が多く、継続が必要である。
	B : 一部適応していない	
	C : 適応していない	
(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か		
評価 A ▼	A : 妥当である	理由 : 資格取得及び講習会開催は負担も少なく、効果が大きい。
	B : 一部妥当でない	
	C : 妥当でない	
(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か		
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 : 施設の適正な維持管理を保持する上で必要である。
	B : 代替の可能性低い	
	C : 代替の可能性高い	
(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか		
評価 A ▼	A : 満足できる	理由 : 円滑な施設運営が行なわれており、効果は大きい。
	B : 一部満足できない	
	C : 満足できない	
(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か		
評価 A ▼	A : 有効である	理由 : し尿の適正処理を推進する上で有効である。
	B : 一部有効である	
	C : 有効でない	

<p>評価バランスチャート</p>	成果向上の余地	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	説明 : 開催方法の見直しを実施することによって受講率の向上が可能である。
	コスト改善余地	
	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	説明 : 経費の削減は困難である。

7 総合評価

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較	説明 し尿処理施設の円滑な運営には職員の資質向上は欠かすことのできない事業であることから積極的な取り組みが必要である。
	今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--